

令和 4 年 10 月 26 日 メルボルン交流抄

「10 月の用務帰国について(特別編)」

10 月 8 日から 13 日まで久しぶりに日本に用務のため帰国しました。

この期間(10 月 9 日-10 日)に 3 年ぶりに対面での日豪経済合同委員会(AJBCC)が行われ、ビクトリア(VIC)州からダソウ総督、南オーストラリア(SA)州のマリナスカス州首相、連邦政府からは南オーストラリア選出のファレル貿易・観光担当大臣といった方々が大挙して日本を訪れました。日本との経済関係を強化したいという豪側の強い意気込みが感じられました。



「ダ」総督は前回の公式訪問から 7 年ぶりの待ちに待った訪日でした。「マ」首相にとっては、今年 3 月に就任後、初の外国訪問先として日本を選ばれました。特に自分の所管する VIC、SA 二州から総督と首相を同時にお迎えすることは大変嬉しく、今回の訪日を通じて個人的な信頼関係も築くことができたと思っています。両者の日程を見る総領事としてはそれぞれが主賓であるという気持ちで臨み、日豪関係者の皆さまの協力を得て何とか無事に乗り切ることができました。心より感謝申し上げます。

そこでその実情を少しご紹介いたします。たとえば、11 日の日程はこのような感じでした。朝 7 時半から「マ」首相との朝食会に、連邦政府のファレル大臣らと共に参加。その後、「ダ」総督の武井外務副大臣との会談に同席。終了後、総督一行と共に、AJBCC 会議に戻り、総督の挨拶を拝聴。「ダ」総督は 2023 年の次回会議がメルボルンで開催されることを発表。会議終了後に再び外務省へ。「マ」首相の武井外務副大臣の会談に同席。総督と首相にはそれぞれ外務省正面玄関にある顕彰の像(注:殉職した外務省職員・家族を忍びその功績を永

久に称える碑)を紹介。その後直ちに名古屋へ。新幹線の中で一息着くと、久しぶりに綺麗な富士山を見ることができました。



名古屋では、大村愛知県知事主催の「ダ」総督歓迎夕食会に同席。愛知県とビクトリア州の姉妹都市関係の強さと深さを直接伺うことができました。翌 12 日は、愛知県とスタジオ・ジブリが一緒になって造ったジブリ・パークを視察。総督にも大好評でした。オーストラリアでもジブリの作品は大変人気があります。11 月 1 日にオープンを迎え、これから多くのオーストラリアの方々がここを訪れるであろうと確信しました。



オーストラリアから日本への入国制限措置が撤廃されることとなった、まさにその 10 月 11 日に、日本においてオーストラリアからの方々と乾杯。今度は家族で旅行に来て下さいとお話しました。

今回の用務帰国では、以上の他に、単独で岐阜と大阪を訪問。オーストラリアへの県の製品の輸出拡大、2025 年大阪関西エキスポに向けての広報、さらに日豪の文化・スポーツ交流

について、関係者の方々と意見交換をしてきました。今後折を見て、進捗状況とあわせて順次取り上げていきたいと思ひます。